

平成28年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT28023 プログラム名

飼ってたのしい 知ってうれしい 伝統養蜂の世界 ―野生のミツバチとつきあう知恵と技―



開催日：平成28年10月1日(土)

実施機関：宮城教育大学

(実施場所) (宮城教育大学9号館 生活科実験室)

実施代表者：溝田 浩二

(所属・職名) (環境教育実践研究センター・准教授)

受講生：小学生9名

関連URL:

【実施内容】

＜受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点＞

- ・ 研究成果をわかりやすく伝えるために、イラストを多用したプレゼン資料、配布資料を準備した。
- ・ 講義と体験実習を交互に織り交ぜることで、受講生の集中力を持続できるよう工夫した。
- ・ 受講生と年齢の近い実施協力者を配置し、受講生に親しみやすい環境を演出した。
- ・ 採蜜体験、ハチミツの試食、蜜蝋キャンドルづくり、蜜蝋リップクリームづくりなど、ミツバチからの恵みを直接体験できるようなプログラムを用意し、受講生の興味を喚起する工夫をした。
- ・ ハチミツ、蜜蝋キャンドル、蜜蝋リップクリームは自宅へのお土産として持ち帰らせることで、プログラム終了後も家庭内で子どもの体験を共有できるように配慮した。

＜当日のスケジュール＞

9:30～10:00 受付

10:00～10:15 開講式（あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明）

10:15～11:00 講義「ニホンミツバチの伝統養蜂」

11:10～12:00 実習「採蜜体験-ハチミツを収穫しよう」

12:00～13:00 昼食（宮城教育大学）

13:00～13:30 講義「ミツバチの恵みをいただく知恵」

13:30～14:30 実習「キャンドル・リップクリームをつくろう（その1）」

14:30～15:00 クッキータイム（ホットケーキを焼き、ハチミツをつけて食べよう）

15:00～16:00 実習「キャンドル・リップクリームをつくろう（その2）」

16:00～16:30 修了式（アンケート記入、未来博士号授与、記念撮影）

16:30 終了・解散

<実施の様子>

10:00~10:15 開講式（あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明）

科研費について説明をおこなった（写真1）。

10:15~11:00 講義「ニホンミツバチの伝統養蜂」

伝統養蜂の魅力について、わかりやすく説明した（写真2）。

11:00~12:00 実習「採蜜体験-ハチミツを収穫しよう」

養蜂名人の指導のもと、巣箱からハチミツを収穫した（写真3）。

12:00~13:00 昼食

参加者全員が屋外でお弁当を食べながら、楽しく交流した（写真4）。

13:00~13:30 講義「ミツバチからの恵みをいただく知恵」

ハチミツや蜜蝋等の利用方法について、わかりやすく説明した（写真5）。

13:30~14:30 実習「キャンドル・リップクリーム作り（その1）」

2つの班に分かれ、キャンドル・リップクリームづくりを体験した（写真6）。

14:30~15:00 クッキータイム

ホットケーキを焼き、採蜜したばかりのハチミツをつけて食べた（写真7）。

15:00~16:00 実習「キャンドル・リップクリーム作り（その2）」

二つの班に分かれ、キャンドル・リップクリームづくりを体験した（写真8）。

16:00~16:30 修了式

アンケート記入、未来博士号授与、記念撮影を行った（写真9、写真10）。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7



写真8



写真9



写真10

<事務局との協力体制>

- ・プログラム実施者と連絡を取り合い、日本学術振興会等外部機関との事務手続きを実施した。
- ・委託費の管理と支出報告書の確認を行った。
- ・市内・県内の小学校との密な連携を利用し、本事業についてPRした。

<広報活動>

- ・ 研究・連携推進課および総務課広報係が、大学の広報誌、ホームページに募集案内を掲載した。
- ・ 実施者等が、仙台市内の学校や天文台・科学館等に本事業の案内を配布して受講生を募った。
- ・ 実施者等が、近隣の学校・附属学校に赴き、本事業の内容をPRした。
- ・ 仙台市近郊に配布される新聞・情報誌等の情報欄に記載した。
- ・ 本学採用全企画を掲載したポスター、ホームページ等を作成し効率的かつ広範な広報活動を行った。

<安全配慮>

- ・ 実習の安全確保のために、受講生2人に対し1人の割合で補助者を配置した。
- ・ 実習ではミツバチを扱うため、実習直前に安全講習を行うとともに、実習時には覆面布の着用を徹底させた。
- ・ 万が一の刺傷事故に備え、ポイズンリムーバーおよび抗ヒスタミン剤を常備した。
- ・ 参加にあたっては、保護者の同意（送迎は保護者が責任をもつこと、ミツバチに刺される可能性があること）が確約されたことを条件とした。
- ・ 参加者全員を短期のレクリエーション保険に加入させた。

<今後の発展性、課題>

- ・ アンケートでは参加者から高い評価を頂き、充実したプログラムが実施できたものと感じている。教員を目指す学生たちに児童と接する貴重な機会を提供できたことも大きな成果と捉えている。
- ・ 唯一残念だったことは、イベント直前にキャンセルをした参加者が複数いたことである。「ひらめき☆ときめきサイエンス」は参加費が無料であるため、親御さんは気軽に申し込みを行い、そして、気軽にキャンセルしてしまう面があると感じた。定員に達してしまい参加したくてもできなかった児童もいたことを考えると、何ともやるせない気持ちになった。

【実施分担者】

【実施協力者】 9 名

【事務担当者】

北澤 優（研究・連携推進課 研究協力係）